

## 美波合同庁舎整備基本方針（骨子案）

**1 整備対象施設**

(1)南部総合県民局美波庁舎（美波合同庁舎）

①所在地 海部郡美波町奥河内字弁才天 17 番地 1

②敷地面積 17,284.19 m<sup>2</sup>

③建物

主な建物	建築年 (経過年数)	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延床面積 (m <sup>2</sup> )	構造等
本館	1970 (55 年)	853.84	2,668.16	RC3 階
会議棟	1970 (55 年)	910.17	1,139.46	RC2 階
新会議棟	1999 (27 年)	521.21	1,568.21	S3 階
渡り廊下棟	1999 (27 年)	53.55	190.58	S3 階
旧保健所棟	1970 (55 年)	428.06	824.12	RC2 階
大型自動車車庫	1970 (55 年)	330.00	330.00	S1 階
水防倉庫	1970 (56 年)	115.44	115.44	CB1 階
詰所	1970 (55 年)	88.02	88.02	RC1 階
	面積計	3,300.29	6,923.99	

経過年数基準：令和 8 年 3 月末

**2 整備候補地**

高台整備を最優先とし整備候補地を検討

**3 集約化を検討する施設**

地元自治体や関係機関等と協議の上、集約化が可能な施設を検討

**4 現庁舎の規模等**

(1)職員数（現職員数）

約 130 名

(2)機能

執務室、旅券等窓口、相談室、会議室、ロビー、倉庫・書庫、車庫、水防資材倉庫、道路作業員詰所兼倉庫、休養室、更衣室、土壌検査室、地力診断室等

【保健所】

執務室、相談室、診療室、処置室、書庫、レントゲン室、栄養室、図書室、感染症検査室、食品検査室（消毒室含む）、感染性廃棄物管理室、医薬品管理室、備蓄資材庫、健康危機管理対応室(災害時保健所保健医療福祉調整本部)

設置、感染症対策本部等)、災害時受援調整室(災害時支援者の活動場所や控え室、受援調整に係るスペース)、屋根付きスペース(ドライブスルー検査対応)、犬拘留施設(別棟)等

(3)床面積(現在面積)

約 6,900 m<sup>2</sup>

(今後、業務内容や人員配置、DX等による最適化により削減を検討する。)

(4)駐車場(現況を元に算出)

来庁者用: 約 40 台

職員用: 約 160 台

公用車用: 約 55 台

(今後、業務内容や人員配置等により変更の可能性がある。)

## 5 現状・課題

(1)地域の現状・課題

①地理的特性

美波町は、徳島県の南東部に位置し、北は阿南市、那賀町、西は牟岐町に接している。交通機関は、JR四国の牟岐線が本町の東部から南西部に通じている。

また、県道日和佐牟岐線が海岸線沿いに牟岐町へ通じているとともに、阿南安芸自動車道「日和佐道路」(阿南市福井町～美波町北河内)が平成23年7月から全線開通している。

②災害

美波町をはじめとする沿岸部は津波浸水深10m以上が想定されており、各町では津波避難タワーの設置や庁舎等の高台移転が進められている。

また、令和7年9月に公表された徳島県津波浸水想定において、美波合同庁舎の敷地については、浸水深3m以上～5m未満とされている。

さらに、南海トラフ巨大地震発生時の津波回避や緊急物資搬送の機能を確保するため、阿南安芸自動車道や牟岐バイパスの整備が進められている。

【阿南安芸自動車道】

○桑野道路(阿南市下大野町～阿南市内原町)

平成23年度事業化・延長6.5km・工事中

○福井道路(阿南市内原町～阿南市福井町)

平成24年度事業化・延長9.6km・工事中

○海部野根道路(海陽町多良～高知県安芸郡東洋町野根)

平成31年度事業化・延長14.3km(うち徳島県分7.5km)

令和7年9月着工

○美波～牟岐間: 計画段階評価中

○牟岐～海部間: 平成30年度都市計画決定

### 【牟岐バイパス】

○海部郡牟岐町川長～海部郡牟岐町中村

平成 16 年度事業化・延長 2.4 km・工事中

### ③圏域市町等の動き

#### 【美波町】

美波町では、南海トラフ巨大地震の津波により、市街地の大部分が津波浸水想定区域となっており、大規模な被害が想定されていることから、令和元年度、高台整備に着工し、日和佐こども園（令和 10 年度開園予定）や応急仮設住宅の建設候補地となる防災公園の整備が進められている。

また、他の公共施設の高台移転についても検討されている。

- ・整備場所：美波町奥河内字弁才天
- ・整備施設：日和佐地区防災公園 約 24,000 m<sup>2</sup>（標高 約 25m）  
日和佐こども園 約 5,000 m<sup>2</sup>（標高 約 15m）

#### 【牟岐町】

牟岐町では、南海トラフ巨大地震の津波により、津波浸水想定区域となっている町役場を山田地区へ移転することとし、令和 7 年度に着工している。

- ・整備場所：牟岐町中村（山田地区）
- ・整備施設：牟岐町役場 約 12,000 m<sup>2</sup>（海拔 約 10m）

#### 【海陽町】

海陽町では、災害時の避難所や救援活動の拠点として、穴喰地区地域防災公園の整備が進められている。

- ・整備場所：海陽町大字久保北田
- ・整備施設：穴喰地区地域防災公園（仮称）約 23,700 m<sup>2</sup>（海拔 約 25m）

#### 【海部消防組合消防本部】

牟岐町役場と同様に、山田地区へ移転することとし、令和 7 年度に着工している。

- ・整備場所：牟岐町中村（山田地区）
- ・整備施設：牟岐町役場の敷地内

#### 【牟岐警察署】

現在の牟岐警察署は建築から 57 年が経過しているとともに、津波浸水想定区域内に位置していることから、牟岐町内での移転整備を軸に候補地等の検討が進められている。

### (2)庁舎の現状と課題

#### ①機能（建物の状況、執務スペースの確保、各機関の連携、窓口業務等）

- ・建物全体の老朽化により、防水機能の低下や水回り、空調の不具合等が発生している。
- ・保健所：旧保健所棟は相談業務に使用し、隣接する保健福祉環境部内で執務を行っている。

- ・物理的なフロアや壁等による分断により、来庁者が立ち入りにくいだけでなく、適切なサービス管理及び部局間連携を妨げる要因となっている。

#### ②職場環境（働きやすさ・DX等）

- ・依然として紙書類が多く、業務効率や保管スペースを圧迫している。
- ・Wi-Fi環境が整っておらず、災害時の通信機能の確保、モバイル端末の活用など柔軟な働き方が困難である。

#### ③防災

- ・美波町との協定により屋上及び3階会議室を津波避難ビルとして使用している。
- ・災害用備蓄倉庫として3部屋を使用中である。
- ・1階の執務室及び駐車場は津波浸水のおそれがある。
- ・公用車等の待避場所が確保されていない。
- ・発災時、災害対策南部支部を大会議室（庁舎2階）に設置予定である。  
（常設でないため、発災時はまず机・機材等を配置する必要あり）

#### ④職員・利用者の利便性（駐車場・動線等）

- ・遠距離通勤者が多く、来庁者は車での来庁が大半であることから、駐車場の拡充が求められている。

## 6 新庁舎整備の基本的な考え方

新庁舎整備の基本的な考え方として、新未来創生総合計画のミッションに照らし、次のとおり基本方針を整理する。

### (1)安心度UP

- ・県民の安全・安心を守る拠点となる庁舎整備
- ・ネットワーク環境の整備 等

### (2)魅力度UP

- ・利便性・ユニバーサルデザインに配慮した庁舎整備 等

### (3)透明度UP

- ・整備過程の可視化
- ・財政負担の軽減・平準化 等

## 7 新庁舎に求められる機能の検討

### (1)利便性

- ①窓口手続のDX推進による来庁者の利便性向上・職員の業務効率化
- ②ユニバーサルデザインへの配慮
- ③十分な駐車場の確保
- ④住民の交通手段の確保

### (2)防災拠点

- ・発災時の防災拠点機能の確保 等

(3)執務室の機能

- ・WEB 会議やフレキシブルに使用できるスペースの確保 等

【保健所】

- ①プライバシーへの配慮
- ②感染症対策・検査関連

(4)環境への配慮

- ・徳島県 GX 推進計画等に基づく ZEB の導入 等

(5)長寿命化

- ・将来の設備更新や維持管理への配慮 等

## **8 財源・整備手法等**

有利な起債等を最大限活用するとともに、PFI 方式による民間資金の活用や DB・DBO 等 PPP 方式の導入を検討し、コスト削減及び費用負担の平準化を図る。